

きたまち通信



ホームページもリニューアルしました！

発行：北町福祉作業所広報係

発行日：令和6年7月1日

ごあいさつ

北町福祉作業所は令和六年四月、練馬区より法人に移譲となり、民間施設として気持ち新たにスタートとなりました。同時に生活介護と就労継続支援B型の多機能型施設となり、数ある福祉事業所の中から多くの方に選ばれる施設になるよう、職員一同を引き締め頑張っていきたいと思えます。これまでの作業所の歴史を振り返りつつ、今後の運営方針や重点課題、各サービスの特色などを紹介させていただきます。

就労継続支援B型

就労継続支援B型サービスについては、昭和五十八年に区立直営施設としてスタートして以来、一般企業からの受注業務や官公需業務などを作業種として利用者に提供してきました。高級チョコレートや焼き菓子用化粧箱の組み立て、幼児向け雑誌の付録の組み込み作

業、ダイレクトメールの封入、封緘、発送作業、文具や玩具等の小物の封入等の請負作業を中心に、チラシのポステイング、区立公園の清掃・除草作業、民間アパートの清掃作業などの外作業のほか、平成十八年に



今年度初の「青空にここ販売会」の様子

社会福祉法人武蔵野会が指定管理者となつてからは、自主生産作業としてパウンドケーキやクッキーなどの焼き菓子の製造販売にも取り組んできました。作業以外では宿泊旅行、作業所まつり、グループ外出、クラブ活動、自治会活動、土曜

日事業（きらきらサタデー）など、独自の活動を展開してきました。平成二十三年には平和台



企業からの受注作業の様子です

駅の近くに店舗を構え、就労移行支援事業を開始し、多くの方の一般就労に向けた支援を展開してきました。事業開始当初の見込みほど利用が伸びず、平成三十年には利用者がゼロとなったため事業休止となりました。B型の本体事業はその後も順調に売り上げを伸ばし、利用者定員（四十七名）はいつもいっぱい状況でした。その後は高齢・重度化が進み、家族の高齢化も相まって、送迎サービ

スや介護サービスのあある区立型福祉園（生活介護）や民間生活介護施設、入所施設に移籍するケースが増えてきました。新規利用者については、特別支援学校高等部卒業生が特例子会社に就職するケースや民間法人のB型施設を進路として選ぶケースが増え、区立型福祉作業所の利用希望者も年々少なくなっています。当作業所も次第に在籍者が減り、今回の民営化を機に定員を三十五名に減らし、新たに開設した生活介護サービスの定員を十名としました。現在、B型、生活介護ともに空きが十分にある状態となっています。

民営化を機に「シリウス班」と名付けた今後のB型サービスの方向性としては、現在のパウンドケーキなどの自主生産品の製造・販売を充実させていくとともに、アイデアを出し合い、食品に限定しない自主生産・販売活動を中心としたB型サービスを目指していこうと考えています。

生活介護

民営化を機に開設した生活介護サービス（ミモザ班）は、高齢・重度化により介護支援のニーズが増え、作業中心のB型サービスがマッチしなくなっている方の受け入れ先として併設しました。北町福祉作業所に長年通い入れた方が、引き続き同所で作業を続けながら機能訓練や余暇活動等の生活面の支援も受けられることを特徴としています。現在3名の方が生活介護サービスを受けられています。七月一日からは一



ミモザ班による野菜の栽培が順調です

般公募を行いますので、興味のある方はお気軽にお問合せください。まずは見学をしていただき、その後三日間から五日間の実習をしていただくことで障害状況の把握をすることも、作業や創作活動、その他の活動を体験していただき適性を判断させていただきまします。施設の都合で申し訳ありませんが、実習は9月以降に実施します。利用開始は随時となっていますので、他事業所からの移籍等もご相談ください。また、空き状況によって練馬区以外にお住まいの方の利用も可能となっています。送迎ルート等のご相談も承ります。提供するプログラム等はホームページを参照ください。

ミモザ班では、作業所の駐車場の一角で園芸活動も行っています。昨年の光が丘第七小跡施設で大々的に行ったゴーヤ栽培には及びませんが、ピーマンやトマトなどがこじんまりと実っています。

前川練馬区長が来訪

去る四月二十四日、前川耀男練馬区長、宮下泰昌副区長、森田泰子副区長が来訪されました。大規模改修工事を機に、障害者の福祉作業所とシルバー人材センターを合築するのは、練馬区の施策においても初のケースということでの視察でした。



前川区長らが利用者の作業の様子を視察

当日進めていた文具小物や風船玩具の袋詰め、菓子箱の組み立て作業を熱心に見学され、たくさん質問もいただきました。中でもパウンドケーキを

作る製菓室では、作業に携わる利用者との記念撮影にも応じていただき、利用者はやや緊張の面持ちではあったもののとても良い記念となりました。



製菓室にて前川区長とのワンショット

リフト付き送迎車納車

国内自動車メーカーの型式認証データの偽造問題の影響で、伸び伸びになっていた生活介護利用者用の送迎車両がようやく納車になりました。当初計画ではマイクロボスの運行を考えていましたが、折からの運転手不足はバス会社に大きく影響しており、予想をはるか

に超える金額の提示に業務委託を断念。そこで運転業務のみ専門の会社に任せ、リフト付き小型車両を急ぎ確保することになりました。貨物車ベースとはいえ福祉車両として足回りを調整してあり、快適な乗り心地となっています。小型車両のため、生活介護利用者宅とのドアツードア送迎も可能となります。降り忘れ防止装置も付いており、安心です。



新しい車いす用リフト付きハイエース8人乗り

商品開発と販路拡大

北町福祉作業所の商品ブラ

ンド「きたまち工房トウインクル」を展開して十有余年。紆余曲折を経て現在では生産も安定し、作業所一階入り口での常設販売も徐々に知られるようになり、「隠れた名店(?)」として常連のお客様も少しずつ増えてきました。品ぞろえも整い、今ではパウンドケーキ、マフィン、クッキーの三種十八品目(季節限定商品を含む)を製造販売するまでになりました。生産能力が限られた中での活動のため、全種類を毎日販売するまでには至っていませんが、近い将来には製造販売専属チームを編成し、商品開発から製造、販売、広報、販路の拡大までを担う体制を考えていきたいと思えます。現在はクッキーの新商品を開発中です。また、区役所での販売会(ねりいち、ふれあいバザール)への出店も常連ですが、平和台図書館さんの計らいでの販売会も準備中です。また、昨年一年間お世話になった光が丘第七小学校跡施設前での出張販売の

ほか、常設販売できる協力店なども探していきたいと思えます。



大規模災害と地域交流

作業所では、万が一の災害に備え毎月避難訓練を実施していることを前号でもお伝えしました。北町福祉作業所では、社会福祉法人に求められている地域貢献、地域公益活動のひとつとして、地域防災への参画を今年度の重点課題としてい

ます。

そこで、北町西小学校防災避難拠点運営協力会の役員（庶務担当）として北町福祉作業所から所長が参加させていただくことになりました。今回の役員会は定例総会に向けての準備が主な議題でしたが、会長との雑談では、作業所の参加に大いに期待しているとのことでした。地域では、独居高齢者や障害者などの要援護者をいかに把握し避難拠点活動につなげていくかが課題となっており、作業所がどのような役割を果たせるのか、今後の話し合いのテーマにもなりそうです。

現在作業所は一時（いつとき）避難所としての位置づけになっていますが、これを福祉避難所として格上げし、近隣の要援護者の受け入れ先の一つとしたいとの考えもお話しいただきました。

また、地域の貴重な社会資源でもある作業所が平日だけの稼働で、土日は使われていないのがなんとももったいないと

考え、近い将来、市民団体等にも地域貢献事業で使っていただけのように、食堂をカフェテリア風に改装しています。いまでも食堂や、どなたでも使える居場所などにも活用してもらいなど、各方面からアイデアをいただけたらと思っています。



2方向採光で明るいカフェテリア風(?) 食堂

意思決定支援の取組②

新型コロナウイルスの影響で自粛していた様々な活動が復活しています。第三者委員会もその一つで、これまでは感染

防止のため、広い会議室がある練馬福祉園を会場に、委員と施設長による会議形式にとどまっています。四月から、従来の四事業所持ち回りで開催し、作業所の利用者代表と委員との意見交換の場も復活しました。普段は遠慮している利用者も、大規模修繕で施設がきれいになったことや、作業室のレイアウトが変わり食堂までの距離が遠くなったなど、自由に意見を発表していたようです。これからも利用者自らが意見を表明できる機会を増やしていきたいと思っています。

武蔵野会後援会のお知らせ

社会福祉法人武蔵野会が経営する事業所の利用者のために、より良い環境や施設の充実、円滑な運営などを物心両面から支える組織として武蔵野会後援会があります。皆様の理解とご協力により会の拡大を図り、法人の運営基盤の確立を応援していますのでご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

電話 042-626-9772

【編集後記】編集長の意向で、昨今主流となっている画像中心の広報誌に対抗して文章中心の広報誌を発行させていただいております。合理的配慮の観点から、ルビ付き漢字にしたり、文章ももう少しわかりやすく工夫をした方がよい、とのご意見もいただいています。できるところから改善していきたいと思えます。今号の感想、ご意見などぜひお寄せください。よろしくお願いたします。（編集長）

編集・制作 北町福祉作業所 〒179-0081 東京都練馬区北町8-2-12

☎03-3559-0361 (代表) FAX 03-3559-0362 ホームページ ; <http://care-net.biz/13/kitamachi/>

社会福祉法人武蔵野会 ☎042-631-6311 ホームページ ; <https://musashinokai.jp/>